

大田区立東調布第一小学校 コミュニティ・スクールに向けて

学校経営目標

「楽しい学校」

「笑顔とあたたかさあふれる学校づくり」



コミュニティ・スクールの目的

「地域とともにある学校づくり」と

「学校を核とした地域づくり」

地域と学校がパートナーとして連携・協働する

■ コミュニティ・スクール制度の**学校運営協議会**



- **学校と地域がパートナーとして同じ目の高さで**
- **じっくりと話し合い、解決の方向を探っていく**

- **学校課題や地域の課題について、**
- **じっくりと話し合う。**



■ **熟議**

コミュニティ・スクールの両輪を成す

「地域学校協働本部」

とついでにサポーターズリンク



**協議会で出された課題を解決する
ための実働組織**

学校運営協議会の役割は2つ。

1つ目は、

地域と学校が抱える課題を

明らかにする。

**じっくりと話し合う中で、課題解決の
ための「共通のビジョン」をもつ**

2つ目は
協議会で話し合った課題を
解決するため
アクションを起こす。

具体的には計画的・継続的な
「活動」を行う。

「地域学校協働活動」

定義



「ビジョンの共有」

「計画的・継続的」

「コーディネート(連絡・調整)機能」

学校・地域が主体



学校の子どもたちのために活動する



「地域学校協働活動」

地域行事への参加

この活動は、地域学校協働本部と連携して行われる。

コミュニティ・スクールのメリット2

教員以外の人材を増やしていく

- 地域社会の人材を「経営資源」ととらえる
- 地域社会の人材
- ↓
- 卒業生、企業の方、大学生、塾の先生・講師、
田園調布高校の先生・講師・生徒等
- ↓
- 地域コーディネーターが「ネットワーク型の学
校経営」に参画

コミュニティ・スクールメリット3 安心できる教育環境づくり

教員の働き方改革への協力依頼

- ◎ 教員の地域コーディネーターと、とういちサポーターズリンクの地域コーディネーター協働
地域社会人材・ボランティアの方の協力

8・3運動

小学生が登下校する時間（8時頃と3時頃）に、散歩や買い物、家の周りの掃除など、積極的に外に出ていただく防犯運動。

- ・1年生の給食指導の手伝い
- ・校外学習の引率補助
- ・企業との折衝・交渉
- ・家庭科実習の手伝い等



学校と地域の協力体制

地域行事、交通安全、生活指導、水泳指導
補助、防犯、防災、学校行事の運営、教員
の働き方等

